

都心活性化推進プロジェクト 提言2016

2016.10

広島商工会議所 都市機能強化委員会

目次

はじめに

第1章 広島の都心部の現状と課題

第2章 2004年版提言の実現項目と未実現項目

第3章 都市機能強化委員会委員へのアンケート調査

第4章 他都市先進事例研究

第5章 提言

おわりに

はじめに

広島商工会議所では、2003年5月に、都心活性化推進プロジェクト検討委員会（委員長：広島商工会議所 都市機能強化委員長 鵜野俊雄氏）を設置し、2004年9月に、広島の都市再生ビジョンとして「都心活性化推進プロジェクト提言」を取りまとめた。

同提言の取りまとめから12年が経過し、「裏通り商店街」の形成や「平和大橋北側の歩行者橋」の新設（2018年度完成予定）などの提言項目が実現したが、未実現項目も少なくない。

本提言は、2004年版提言の続編と位置付け、同提言の未実現項目を中心として、広島の都心が一層個性と魅力にあふれる空間となるよう、その諸方策について改めて取りまとめを行ったものである。

本提言で示した事項を一つでも多く具現化させ、広島の都心の更なる活性化に貢献できれば幸いである。

1

第1章 広島の都心部の現状と課題

2

広島の都心部の現状と課題

都市の活力とにぎわいを生み出す都心の活性化は、万難を排して取り組むべき重要課題である。

広島商工会議所においては、2004年版提言において、広島の都心エリアを、行政・ビジネス・商業の中核施設や交通結節、観光名所を備えた、八丁堀交差点を中心とした、半径約1kmのサークル内と設定している。

広島市は、本エリアを中心として成長・発展を遂げてきたが、現在、大型商業施設の郊外立地による都心集客力の相対的低下や、老朽化建物の更新が進まないこと、観光客の都心回遊が進まず新たな地域資源発掘や市民の街づくり意識・ホスピタリティマインドの醸成が進まないこと、イベントのマンネリ化、憩い・安らぎ・潤いにあふれる空間が少ないといった課題が見受けられる。

個性と魅力にあふれる都心空間を形成し、都市の価値を高め、都市に新たな活力とにぎわい、交流を生み出していくことが重要である。



第2章 2004年版提言の実現項目と 未実現項目

実現項目

- 1.裏通り商店街の形成と
愛称付け（うらぶくろ）

URABUKURO



- 2.平和大橋北側の
歩行者橋 新設



実現項目

3.元安川オープンカフェ開設（2008年8月）

水辺のコンサート開催



オープンカフェ、水辺のコンサート開催風景
※広島市WEBサイトより



4.相生通りの
ショッピング・
飲食機能拡充



商業・飲食サービス機能の集積が進む相生通り

実現項目

5.広島城の

撮影スポット整備・拡充



日本100名城の一つである広島城
※（公財）広島市文化財団WEBサイトより

7

8

未実現項目

1. 平和大通りの魅力拡充
2. 和み・休憩施設（公共空間）の提供

平和大通りイメージパース（2004年版提言より）



和み・休憩施設イメージパース（2004年版提言より）



第3章 都市機能強化委員会委員への アンケート調査

アンケート調査

広島市の街づくりにおいて、今後注力すべきと考える事項について、アンケート調査を実施した。

* アンケート調査期間：2016.4～2016.5

* 調査対象：広島商工会議所
都市機能強化委員会 委員（41人）

* アンケート回収枚数：40枚

* 回収率：97.6%



アンケート調査結果（複数回答）

	項目	回答数	回答率
1	中心部（広島駅周辺～八丁堀・紙屋町地区）、商店街・街づくりの振興	20	17.1%
2	西飛行場跡地の活用策	20	17.1%
3	アストラムラインの延伸	17	14.5%
4	瀬戸内海や川などの水辺を活かした観光振興	15	12.8%
5	広島における観光滞在時間を増加するための観光施策（修学旅行生・クルーズ客船乗客等）	13	11.1%
6	道路整備	11	9.4%
7	周辺商店街・街づくりの振興（インバウンド観光客・イートインへの対応）	7	6.0%
8	来広ニーズにあった宿泊施設の増設	7	6.0%
9	その他	5	4.3%
10	安心・安全なまちづくりに向けた平和大通りのライトアップ	2	1.7%
合計		117	100%

第4章 他都市先進事例研究

13

都市機能強化委員会による先進地視察

都市機能強化委員会では、都市に新たなぎわいと活気を生み出している人気商業施設や、“食べ歩き”、水辺の再整備、クルーズ事業などで、都市を魅力あるものとしている市場や公園など、先進地の事例について理解を深めるため、2014年から2016年にかけて3回にわたり視察を行った。

〔第1回〕関東地区都市活性化先進事例視察会

実施日 2014年11月13日（木）～14日（金）

視察先 ①IKEA船橋（千葉県）②代官山蔦屋書店 ③コレド室町
④マーチエキュート神田万世橋 ※IKEA船橋以外はすべて東京都

出席者 10人

〔第2回〕都市活性化先進事例視察会（大阪）

実施日 2015年10月21日（水）

視察先 ①とんぼりリバーウォーク ②黒門市場 ③クルーズ
④北浜テラス ⑤中之島GATE ※すべて大阪府

出席者 10人

〔第3回〕福岡市都市活性化先進事例視察会

実施日 2016年8月2日（火）

視察先 ①水上観光船によるリバーカルーズ ②長浜鮮魚市場
③柳橋連合市場 ④水上公園 ※すべて福岡県

出席者 15人



おしゃれなアイテムが豊富に揃う
世界最大の家具店IKEA

14

都市機能強化委員会による先進地視察

国内第1号店として2006年にOPENしたスウェーデン発祥の世界最大の家具販売店「IKEA船橋」や、「TSUTAYA」運営会社が手掛ける大人を対象として新たなライフスタイルを提案する総合書店「代官山蔦屋書店」（月間来客数約60万人）、日本橋再生計画の一環として三井不動産が開発した商業施設「コレド室町」等の視察では、周辺に新たな活力とにぎわいを生み出す集客空間のあり方などについて理解を深めることができた。

また、活用が進んでいなかった水辺に接する市営公園をリニューアルしにぎわいを取り戻した「水上公園」や、日本初の常設川床を飲食店10店超で展開する「北浜テラス」の視察、船上で生演奏やバーベキューなどを楽しむことができる博多の「水上観光船」によるクルーズ、8つの公共船着場が整備され“水都大阪”を船上から楽しむことができるクルーズでは、水辺の持つ可能性・価値を再確認し、水辺空間の更なる整備・拡充の必要性を感じた。

“食べ歩き”をコンセプトに多くの外国人観光客の誘致に成功している「黒門市場」や、全国各地から届く旬魚を“いけす”から生きたまま購入でき、その場で味わうことができることで人気を博す「中之島漁港」など、消費者自らが地域の“おいしいもの”探しを行い、探し当てたものを気軽に、その場で、一番おいしい状態で、楽しむことへのニーズが高いことを確認した。

15

北沢川緑道 (東京都世田谷区)

かん木や雑木類が植えられ、四季折々の花が咲く、緑あふれる遊歩道。

都市の水辺整備を行う際の参考事項となるよう、国土交通省が取りまとめた「都市の水辺整備ガイドブック（平成21年2月）」に掲載された。



美しく整備された北沢川緑道
※国土交通省「都市の水辺整備ガイドブック」より

千年夜市「フラワーライトアップ」(福岡県福岡市)

中洲の清流公園において、川沿いに美しく咲く12,000本のチューリップと博多の夜景をきらびやかに照らすライトアップ事業。

ライトアップ実施期間中は、多くの市民や観光客でにぎわっている。



イメージ

16

定禅寺ストリートジャズフェスティバル (宮城県仙台市) ハカタストリートコンテナ (福岡県福岡市)

仙台市中心部にて1991年に始まった、街全体がステージへと一変する無料の市民音楽祭。

定禅寺通りを中心に、ビル入口や商店街の軒先、公園などの至る所でジャンルを問わず様々なバンド（700組超）の演奏が行われる。

貨物運搬などで使用されるコンテナを使ったショップ。クレーンでコンテナを設置・撤去する簡易型店舗。

歩道空間の活用などを目的として、1ヶ月など、期間を限定して設置される。



※(公社) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会WEBサイトより



コンテナを活用した期間限定の簡易ショップ
※博多経済新聞WEBサイトより

17

代々木公園フリーマーケット (東京都渋谷区)

日本で初めてフリーマーケットが開催された「フリマの聖地（代々木公園）」で行われる大規模フリーマーケット。会場は大勢の行楽客・通行人が行き交う絶好のロケーションにある。

都内最大級の会場規模であり（約10,000m²）、800前後の店舗が出店し、多くの若者等でにぎわう。会場前の並木通りでは、毎週末、プロ・アマを問わず多くのバンドやパフォーマーがパフォーマンスを繰り広げる。



イメージ

広島神輿行列「通り御祭礼」 (広島県広島市)

京都の「祇園祭」、東京の「神田祭」、大阪の「天神祭」など、日本の伝統的祭りには神輿行列があり、広島でも、花や人形などで華やかに飾った山車を曳き、轔やかな笛太鼓の音曲や子供歌舞伎などが町中を練り歩く大行列が江戸時代より徳川家康没後50年ごとに行われてきた。

1815年を最後に途絶えていた「通り御祭礼」が徳川家康没後400年にあたる2015年に復興し、多くの来場者を集めた。



神輿行列風景
※広島東照宮WEBサイトより

18

水上公園 (福岡県福岡市)

2016年7月にリニューアルオープンした市営公園（西日本鉄道(株)が整備・運営）。

水辺の景観を活かしたガラス張りの施設は、船を思わせる形状となっており、屋根上部分は公園全体と一体的に利用できる空間として活用できる。

施設内には、人気レストラン2店が入居し、連日にぎわっている。



“世界一の朝食”を提供する「bills」などの人気レストランが入居する水上公園 ※西日本新聞WEBサイトより

小樽運河 (北海道小樽市)

直線ではなく緩やかに湾曲する特徴を有する運河（全長1,140m）。

散策路には63基のガス灯が設置され、運河沿いの石造倉庫群は当時の姿のまま残されており、レストランなどとして再利用されている。

運河は夜間通年で美しくライトアップされ、観光客の目を楽しませている。



19

北浜テラス (大阪府大阪市)

日本初の常設川床（民間の任意団体が全国で初めて河川敷の包括的占用者として許可を受けている）。

民間による、公共ストックの積極的利用を図る試みとしても注目を集めている。

現在、11店が営業を行っている。



水辺に張り出したテラスが並ぶ日本初の常設川床である北浜テラス
※北浜水辺協議会WEBサイトより

水上観光船 (福岡県福岡市)

活気あふれる福岡の街並みなどを水上から楽しむことができるクルーズ船。

「福博であい橋」より「キャナルシティ」、「博多湾」を巡る30分の周遊コースなどがある。A5ランクの宮崎牛を堪能できるバーベキューコースや水炊きコースなどのオプションコースがある。

船上では、地元アーティストの生演奏などを楽しむことができる。



キャナルシティや中洲、天神など、福岡市都心部を流れ、
博多湾に注ぐ那珂川で運航する水上観光船

20

湊町リバープレイス (大阪府大阪市)

難波のウォーターフロントゾーンとして開発された施設。同施設内には、FM大阪やライブハウスなどが入居している。

道頓堀川を航行する遊覧船の船着場に接しており、川に向かって広大なオープンスペースが設けられている。



広大なオープンスペースが川に向かって設けられている湊町リバープレイス。多くの人が川を見ながらゆったりと滞留することができる。
※「都市を変える水辺アクション実践ガイド」より

黒門市場 (大阪府大阪市)

大阪の台所として庶民に愛され、飲食店に食材を提供し続ける市場。縦約600m、横約300mの「牛」の字型に広がる通りに約170店が軒を連ねる。

近年、同商店街では、“食べ歩き”をコンセプトに、黒門市場全体を巨大フードコートに見立て、外国人観光客の誘致に取り組んでおり、アジア系を中心に活況を呈している。



“食べ歩き”できることが好評を得て、多くの観光客でにぎわう黒門市場

21

戸越銀座商店街 (東京都品川区)

全長約1.3kmに及ぶ関東有数の長さを誇る商店街。

商店街には約400店の店舗が軒を連ね、平日でも10,000人以上が訪れる東京を代表する人気商店街。

楽しく“食べ歩き”ができる商店街として、多くのメディアにとり上げられている。



関東の人気“食べ歩き”スポットである戸越銀座商店街
※(公財)東京観光財団WEBサイトより

大須商店街 (愛知県名古屋市)

大須観音の門前町として栄え、現在、1,200もの店舗・施設がひしめく商店街。

商店街内には様々なジャンルの店舗・施設があり、その“ごった煮”的雰囲気が愛され、全国屈指の“おもしろ商店街”として注目を集めている。外国人にも人気があり、土・日曜には“食べ歩き”を楽しむ人でごった返している。



多款あるB級グルメを“食べ歩き”できる大須商店街

22

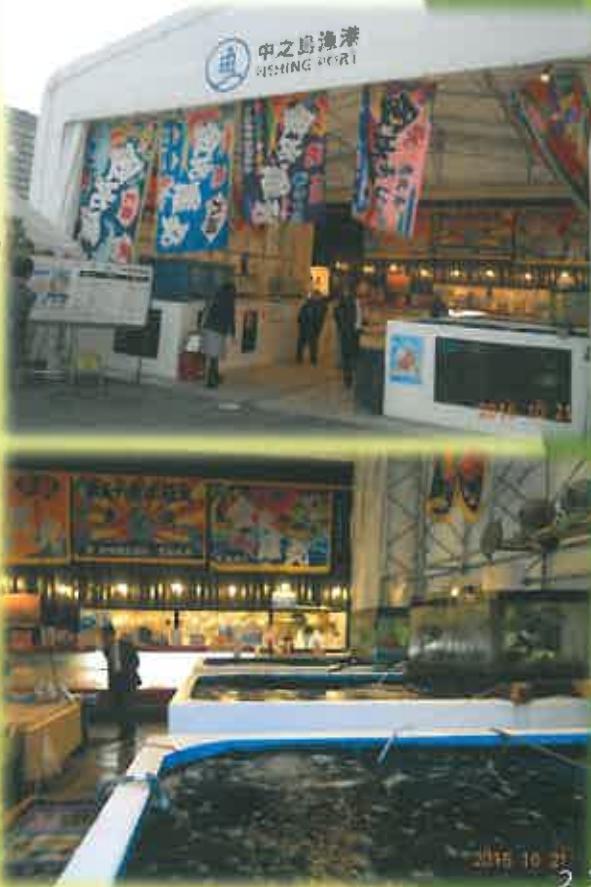
中之島漁港 (大阪府大阪市)

全国各地の漁港から届けられる新鮮な魚介類を、生きたまま購入できるほか、その場で食べることができる施設。

2015年にオープンし、連日にぎわっている。



魚介類を生きたまま購入できる中之島漁港
※中之島漁港WEBサイトより



第5章 提言

提言の方向性

本提言は、2004年版提言の続編と位置付け、同提言の未実現項目（平和大通りの魅力拡充、和み・休憩施設の提供）を中心として、広島の都心が一層個性と魅力にあふれる空間となるよう、その諸方策について改めて取りまとめを行うものである。

広島の都心部は、大型商業施設の郊外立地による都心集客力の相対的低下や、老朽化建物の更新が進まないこと、観光客の都心回遊が進まず新たな地域資源発掘や市民の街づくり意識・ホスピタリティマインドの醸成が進まないこと、イベントのマンネリ化、憩い・安らぎ・潤いにあふれる空間が少ないといった課題が見受けられる。

個性と魅力にあふれる都心空間を形成し、都市の価値を高め、都市に新たな活力とにぎわい、交流を生み出していくことが重要である。

また、広島市の街づくりにおいて、今後注力すべきと考える事項について、都市機能強化委員会委員あて行ったアンケートでは、「中心部商店街・街づくりの振興」、「西飛行場跡地の活用策」、「アストラムラインの延伸」、「瀬戸内海や川などの水辺を活かした観光振興」、「広島における観光滞在時間を増加するための観光施策」の5項目で回答の70%超を占めた。

25

提言の方向性

都市機能強化委員会にて行った先進地視察では、周辺に新たな活力とにぎわいを生み出す集客空間のあり方や、水辺を活用しにぎわいを取り戻した公園や複数の飲食店で展開する常設川床、アーティストの生演奏などを楽しむことができるクルーズ等を通して、水辺の持つ可能性・価値を再確認し、水辺空間の更なる整備・拡充の必要性を感じた。

これらを鑑み、本提言では、実現可能性の高い平和大通りの魅力拡充、水辺空間の整備・活用などについて提言を行うこととした。



26

1. 平和大通りの魅力拡充

平和記念公園に隣接し、広島の戦後復興のシンボル的空間として整備されてきた「平和大通り」は、都心の緑あふれる貴重な空間として、広島の魅力と個性を国内外に強く発信している。「平和大通り」は、市内の重要な幹線道路として利用されるほか、朝夕の散歩道としての利用や、多彩なイベント（フラワーフェスティバル、全国男子駅伝、ライトアップ、朝市など）が開催されるなど、広島にとって不可欠な都市空間となっている。

しかしながら、日中に通りの木蔭やベンチでくつろぐ人はあまり見かけないのが現状である。同通りで開催されるイベントは、近年は固定化し日新しさが薄れてきている。また、レストラン・カフェなど、人が憩い楽しむ施設はなく、通りの上部から見ると緑あふれる空間美を創造しているものの、実際には大きな樹木が生い茂り、夜間は暗く活用がなされていないなど、「平和大通り」は“楽しみながら歩き・憩うことができる空間”とは必ずしもなっていない。

沿道沿いのビルやホテル、近年建設が進むマンションなどとの、通りの更なる“魅力づくり”に関する連携も進んでいない。

オバマ大統領の歴史的な訪問もあり、今後も引き続き国内外から多くの方が訪れると期待される平和記念公園に隣接し、おしゃれなセレクトショップやカフェなどが軒を連ね、日々若者でにぎわう「並木通り」をはじめ、「しそう通り」や「中央通り」、「流川通り」など、にぎわいある都心のストリートの起点としての役割を持ちながら、都心回遊性向上の重要なツールとして、その強みが十分に活かされていないのが実情である。

27



そこで、「平和記念公園」南側から「田中町交差点」までの「平和大通り」緑地帯・歩道について、観光客・出張者や地元の方に、花や緑、水、光を楽しんでもらい、憩いと安らぎ、潤い、にぎわいを感じていただくことができる都市空間へと再整備を行うよう提案する。

広島の戦後復興のシンボル的空間である「平和大通り」の魅力拡充を図り、都心回遊性を向上させ、都心部の更なる魅力拡充へとつなげていく。



【整備対象エリア】
「平和記念公園」南側から「田中町交差点」までの
「平和大通り」緑地帯・歩道

28

*カナル（水路）・噴水などの親水空間や花・緑にあふれる、“楽しみながら歩き・憩うことができる空間”的整備（新設する”花壇”などは、地域貢献の一環として、区画ごとに整備希望企業・団体を募集し管理を任せせる）



北沢川緑道（東京都世田谷区）
※国土交通省「都市の水辺整備ガイドブック」より



花・緑に囲まれたベンチ、オープンカフェ、噴水などのイメージ

*年間を通じた夜間ライトアップ

（沿道沿いのビル・ホテル・マンション所有者への建物ライトアップ費用の助成。夜も明るく、安全・安心な、美しい街であることを訴求し、滞在型観光を促進する。）



夜間ライトアップイメージ



29

*花カレンダー作成・配付（「平和大通り」で季節ごとに楽しめる草花などを紹介し通りの散策を促す）

花カレンダー（イメージ）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
●●●●●●● スイセン（1月上旬～2月中旬）											
	●●●●●●● パンジー（2月～3月）							パンジー（10月～12月）	●●●●●●●●●●●●●●		
		●●●●●●● ナノハナ(3月上旬～4月中旬)									
			●●● サクラ(3月下旬～4月上旬)								
				●●● チューリップ（4月中旬～下旬）							
					●●●●● ツツジ（4月中旬～5月上旬）						
						●●●●●●● バラ（5月中旬～6月上旬）					
							●●●●●●● アジサイ（6月上旬～7月初旬）				
								ヒマワリ・コスモス（9月中旬～10月上旬）	●●●		

30

*多彩なイベントの開発・実施
(音楽フェス、期間限定ショップ、フリーマーケット、神輿祭りなど)



仙台市中心部で行われる街全体がステージへと一変する無料の市民音楽祭「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」。定禅寺通りを中心に、ビル入口や商店街の軒先、公園などの至る所でジャンルを問わず様々なバンド（700組超）の演奏が行われる。※（公社）定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会WEBサイトより



貨物運搬などで使用されるコンテナを使った期間限定ショップ「ハカタストリートコンテナ」（福岡市）。クレーンで設置・撤去を行う簡易型店舗。※博多経済新聞WEBサイトより



フリーマーケット。

都内最大級の会場規模であり、800前後の店舗が出店し、多くの若者等でにぎわう「フリマの聖地（代々木公園）」で行われる大規模フリーマーケット会場前の並木通りでは、毎週末、プロ・アマを問わず多くのバンドやパフォーマーがパフォーマンスを繰り広げている。



広島神輿行列「通り御祭礼」（広島市）。日本の伝統的祭りには神輿行列があり、広島でも、江戸時代より徳川家康没後50年ごとに行われてきた。1815年を最後に途絶えていた「通り御祭礼」が、徳川家康没後400年にあたる2015年に復興した。※広島東照宮WEBサイトより

3-1

2. 水辺空間の整備・活用 (川岸公園の整備)

国・県・市により、太田川デルタを対象として「水の都整備構想」が策定され、親水性の高い護岸や河岸緑地などの整備が進み、美しい水辺環境が形成されつつある。また、整備された水辺・緑地の利活用が進んでいる。

都市機能強化委員会では、2016年8月に、同年7月にリニューアルオープンした、西中洲の先端にある「水上公園」を視察した。

同公園は、福岡市初の市営公園であり、これまでモニュメントを中心とした静かな空間として整備されていたが、憩う人は少なく十分に活用がなされていないという課題があった。リニューアルオープン後は、多くの市民・観光客でにぎわい、水辺と親しむ姿が見受けられるようになった（1・2階：人気飲食店、屋上：公園と一体となったオープンスペース）。

広島市においても、県民・市民や観光客が集いやすいなど、立地ポテンシャルが高い場所にありながら、現在は十分に活用がなされていない水辺空間を活用し、水辺と親しみ、憩うことができる、恒常的なにぎわいスポットを新たに創出していかれたい。

同スポットには、SUPやカヌーなどの水辺のアクティビティを楽しむことができる体験スポットの整備を行い（艇庫や更衣室機能などを有する小屋などを新設）、体験教室などを開催するなど、ハード・ソフトの両面から、気軽に貴重な水辺に親しんでもらえる場とする。

3-2

*川岸公園イメージ



“世界一の朝食”を提供する「bills」などの人気レストランが入居する水上公園（福岡市）※西日本新聞WEBサイトより



美しくライトアップされた小樽運河（小樽市）



水辺に張り出したテラスが並ぶ日本初の常設川床である北浜テラス（大阪市）※北浜水辺協議会WEBサイトより



立地ボテンシャルが高い場所にありながら未活用となっている
広島市の水辺空間（一例）
※広島市南区京橋町「上柳橋東詰交差点」北・東側河岸一帯

3-3

*水辺のアクティビティ



SUP (Stand Up Paddle)
(サーフィンよりも大きく、浮力の強いボードの上に立ちパドルを
使ってこぎ進むハワイ発祥のアクティビティ。老若男女誰でも気軽に
楽しめることから、近年人気が高まっている。)
※水辺在及び（一社）水都大阪パートナーズWEBサイトより



シーカヤック（グリーンランドなど、極北の先住民族が狩りに使った、主に一人乗りのカヌー。レジャーや競技用としての利用が近年増えている。）



帆庫
※ヨコハマ経済新聞WEBサイトより

3-4

おわりに

本提言では、平和大通りの魅力拡充や水辺空間の整備・活用など、実現可能性が高いと思われる事項に絞り込み、取りまとめを行った。

都市機能強化委員会では、“食べ歩き”でぎわう市場等の視察を通して、地域の“おいしいもの”を気軽に、その場で、一番おいしい状態で楽しむことへのニーズが高いことを再確認し、広島市西部エリアなど、広島が誇る2つの世界遺産の中間エリアに、“食べ歩きができる街”的創出を図るべく、要望内容を検討していた。しかしながら、同エリア臨海部に多様な飲食機能を有する大型商業施設の整備計画があることもあり見送ることとした。同施設完成後、改めて機能の検証を行い、アクションを起こすか否か検討を行っていきたい。

また、人口増加率が政令市トップ（H22.10～H27.10で5.1%増）である福岡市の視察では、同市ベイエリアに国際会議場など、4施設が一体となった一大コンベンションゾーンが整備され、年330件を超える国際会議（6年連続全国2位の開催件数）が開催されている旨、同市職員より説明を受けた。受入れができず申込謝絶する件数は年間40～50件に及び、その経済的機会損失は年間最大190億円とのことであった。都市間競争を勝ち抜くためにも、当市においてコンベンション都市機能の強化を図る必要があることをあらためて痛感した。本提言項目と併せて、アクセス性に優れる場所へのコンベンション施設の早期整備に努められたい。

35

広島商工会議所 都市機能強化委員会

都心活性化推進プロジェクト提言2016

2016.10発行

【事務局】広島商工会議所 産業・地域振興部 地域振興チーム

〒730-8510 広島市中区基町5-44

TEL(082)222-6641 FAX(082)222-6411